



立正大学

RISSHO University Alumni Association Since 2009

立正大学校友会報

No.40

たちばな

2019.1.1



◆ 発行 / 立正大学校友会 ◆

- P.02 校友会 10 周年記念式典開催報告
- P.04 平成 30 年度校友の集い
「ホームカミングデー in 橘花祭」を開催
- P.08 ホームカミングデー in 橘花祭と同窓会
- P.09 同窓会支部総会開催報告・同窓会研修会開催報告
- P.11 立正大学橘会就職報告会
- P.12 平成 30 年度 橘会保護者懇談会開催報告
- P.16 BOOK&WORKS・INFORMATION

校友会10周年記念式典開催報告

立正大学校友会が2018年創設10周年を迎えるにあたり、同年11月3日に標記の「校友会10周年記念式典と懇親会」が池上本門寺朗峰会館にて、第五十四代日蓮宗管長・立正大学学園総裁 菅野日彰 猊下をはじめ関係者各位をお招きし、300人余りの大勢な参加者に囲まれて華やかに挙行されました。これを成功裡に終えることができましたことは、ひとえにご参加いただきました皆様のご協力とご支援の賜と心より感謝申し上げます。

立正大学はこれを大きな飛躍の契機とし、これからも高度情報社会の著しい進展を踏まえ、崇高な建学の精神に則り力強く邁進してまいります。

立正大学校友会諸氏におかれましては、本学の豊かな明日を構築するために、唯一無二、すなわち「真実・正義・和平」の立正スピリットを堅持して、一層のご支持をお願い申し上げるとともに、校友会のますますのご発展をお祈り申し上げますの次第です。

校友会会長・立正大学学長 齊藤 昇



外観



来賓



校友会会長 齊藤昇学長挨拶



菅野日彰猊下挨拶



校友会顧問 望月兼雄理事長挨拶



野坂法雄同窓会会長挨拶



田中貞真橋会会長挨拶



市川幹郵政会会長挨拶



鏡割り



高村弘毅校友会名誉会長乾杯



懇親会風景



懇親会風景



懇親会風景



権田酒造と学生がコラボしたお酒試飲ブース



マジシャンによるカードマジック



カクテルパフォーマンス



西岡勇治同窓会副会長閉会挨拶



池上悟樹学長閉会宣言



集合写真

平成30年度
校友の集い

「ホームカミングデー in 橘花祭」を開催!!

校友会主催 校友の集い「ホームカミングデー in 橘花祭」を、平成30年11月3日(土)に開催いたしました。

本年度で6回目となる校友会主催の「ホームカミングデー in 橘花祭」は、品川キャンパスの1号館・5号館・7号館・9号館・学生広場で行われました。

当日は、本学名誉教授による講演や、立正マルシェと称し、ダイワロイヤルホテルズ様など大学周辺企業参加による物販・展示・相談、橘花祭模擬店団体による模擬店の出店、各地域の同窓会主催による地方物産展(模擬店)、東京中小企業家同友

会南部協議会様によるフリーマーケットがあり、沢山の方々の来校がありました。また、来場者用キッズコーナーを今年度は橘花祭期間中の2日間設け、多くの方々にご利用をいただきました。今年度は、バーテルス様から日本赤十字社を通して、被災地に16,493円の寄付を頂き、東京中小企業家同友会から当日の売上金17,500円を、大学同窓会から、当日の売上金120,750円をそれぞれ在校生の奨学金として、大学に寄付を頂きました。ご参加いただきました方々に御礼申し上げるとともに、ご協力いただきました皆様へ感謝申し上げます。

平成30年度 立正大学校友会主催
「ホームカミングデー in 橘花祭」
開催報告

- 開催期間：平成30年11月3日(土)
- 開催場所：品川キャンパス1・5・7・9号館、学生広場
- 入場者数：8,792名(橘花祭実行委員会調べ)



集合写真



正門前



校友会会長 齊藤昇学長挨拶



校友会主催 講演会 立正大学名誉教授 福岡 義隆氏



校友会顧問 望月兼雄理事長挨拶



販わう学生広場





ピッツァ移動販売屋台 Bakka-バック-



バーテルス様



東京中小企業家同友会南部協議会様



ダイワロイヤルホテルズ様



日本酒プロジェクト



大道芸



史料編纂課協力 色紙に見る立正大学の歴史



仏教学部同窓会協力 ご祈祷



地方物産展



社会福祉学部同窓会協力 来場者用キッズスペース 室内



校友会協賛 法学部・法制研究所シンポジウム



文学部英文学科・英米文学科・文学科英語英米文学コース卒業生および文学研究科英米文学専攻修士を囲む会



立笑(正)点



教職教育センター・文学部同窓会・地球環境科学部同窓会 協力 OB・OG先輩を囲む会

平成30年度

ホームカミングデー in 橘花祭と同窓会

立正大学同窓会副会長 西岡 勇治

ホームカミングデー in 橘花祭に同窓会として協賛参加して6年目を迎えた今年は、品川キャンパスの校舎大規模増築があり、会場の変更を余儀なくされてしまったが、例年通りに、多くの同窓生に参加いただくことができました。定例となった各学部の活動や、各県支部からのお国自慢の物産品の販売は、好評を得ました。さらに、少しずつではありますが、同窓生や品川区在住の区民の来場も増えつつあるようです。

協賛参加いただいた支部は19県6学部です。北から順に紹介させていただくと、青森県の牛蒡うどん、岩手県の盛岡冷麺、宮城県の白石ウーメン、秋田県のしとぎ豆煎餅となまはげ君のおやつ、さらに金農パンケーキ、福島県の喜多方ラーメン、新潟県の新潟県産米「米山プリンセス」、栃木県の本村のおかき煎餅、茨城県の干し芋、東京都・経済学部共同で草月の黒松どら焼き、東京多摩の高尾山どんぐり麺、滋賀県の設楽焼食器各種、兵庫県の黒豆うどん、徳島県のすだちと四国銘菓、福岡県の元祖長浜屋のカップラーメン、熊本県の銘菓、宮崎県の平兵衛酢しぼり汁、沖縄県の銘菓、という品揃えでOB同士での購入ばかりでなく現役の学生にも大いに購入いただきました。また、群馬県と千葉県からは協賛金をいただきました。文学部と地球環境科学部は、大学の教職センターと協賛し、現役の中高教職員や校長先生そして社会教育課で活躍中の方々に来訪いただき、教職への就職活動準備中の現役学生との受験や就職にあたっての心構えややりがいそして注意事項などについての講演と懇談会を開催しました。さらに社会福祉学部は未就学のお子さんを連れての来場者のためにキッズコーナーを開設し、安心して来場者が会場内を散策できるようお子さんを預かると

いう配慮を行いました。仏教学部は大学内安置祖師像の開帳と説明、法学部は、卒業生異業種交流会として、OBや現役学生との交流懇談会を開催しました。

今年は、同窓会の上部団体である、校友会設立10周年の記念行事が、池上の朗峰会館で開催されるという慶事も重なり、午後2時には同窓生によるそれぞれのイベントを閉会するという状態でしたが、各支部からの参加者の中にはそのまま朗峰会館に移動し、同窓生や恩師との楽しい交流の時間を持たれた方も多かったようです。

さて、売上金の中からお願いさせていただいている、現役学生の石橋湛山記念奨学基金への寄付金は12万円を超え、この金額を奨学基金に寄付させていただくことができました。

ホームカミングデー in 橘花祭に協賛参加いただき、また奨学基金への寄付にもご協力いただいたことに感謝申し上げます。

来年もさらに充実した協賛参加を進めていきたいと思っていますので、多くの支部の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

さて、協賛参加の重要な視点は、各県支部の逸品を売るのではなく、逸品の紹介や販売を通して、現役の学生や、大学近隣の居住者に各地で活躍する立正大学同窓生を知っていただくこと、そしてそのオール立正の輪を大きくする交流の場としていただくことでもあります。来年の参加の際には、今年以上に交流の場として利用いただけるよう、また交流の時間にも余裕を持ったスケジュールをお立ていただきたくお願いいたします。

この活動を通じて、立正同窓生の輪を大きくし、全国いたるところで活躍する同窓生をお互い励ましあいたいものだと思います。

同窓会支部総会開催報告

【滋賀県支部】

- ◆ 5月19日(土)
- ◆ 石山市 ホテルラングウッド



【福島県支部】

- ◆ 8月26日(日)
- ◆ 郡山市「清稜山倶楽部」磐梯熱海温泉
- ◆ 講演会:「介護一般について」小山田祥三氏(S44文卒)



【北海道支部】

- ◆ 9月1日(土)
- ◆ 札幌市 ホテル ポールスター札幌
- ◆ 講演会:「日本酒の歴史についてと試飲会」熊田架凜氏(銘酒の裕多加 常務取締役)



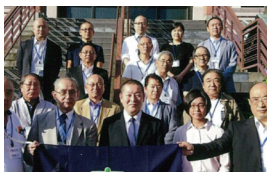
【長崎県支部】

- ◆ 9月8日(土)
- ◆ 長崎市 サンプリエール長崎
- ◆ 講演会:「相続と贈与と財テク」峯 富美子氏(マニユライフ生命 長崎営業所)



【栃木県支部】

- ◆ 9月9日(日)
- ◆ 宇都宮市 妙金寺会館
- ◆ 講演会:「気候学から見た暑さと熱中症」鈴木パーカー明日香氏(立正大学地球環境科学部)



【新潟県支部】

- ◆ 9月9日(日)
- ◆ 西蒲原郡弥彦村 弥彦温泉「みのや」



【香川県支部】

- ◆ 10月6日(土)
- ◆ 高松市 神童ろ(わらじろ)



【岩手県支部】

- ◆ 10月13日(土)
- ◆ 盛岡市 ホテルルイズ
- ◆ 講演会:「絵本「希望への貝吹き」制作こぼれ話～嘉永6年三閉伊一揆～」藤沢昭子氏(滝沢市高齢者大学講師・S41文卒)



【青森県支部&北東北三県合同交流会】

- ◆ 10月20日(土)
- ◆ 八戸市 八戸パークホテル



【長野県支部】

- ◆ 10月27日(土)
- ◆ 飯田市 飯田シルクホテル
- ◆ 講演会:「今、石橋湛山からわれわれは何を学ぶか?」増田 弘氏(石橋湛山研究センター長・法学博士)



【沖縄県支部】

- ◆ 10月31日(水)
- ◆ 那覇市 ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城
- ◆ 講演会:「重箱の偶的考察?言葉はおもしろい」諸見里杉子氏(フリーアナウンサー・H5文卒)



【愛知県支部】

- ◆ 11月4日(日)
- ◆ 名古屋市 名鉄ニューグランドホテル
- ◆ 講演会:「現在の立正大学生就職状況」吉岡重雄キャリアサポートセンター部長



【秋田県支部】

- ◆ 11月10日(土)
- ◆ 大館市 たしろ温泉「ユツプラ」



【秋田県支部研修会開催】

日 時 11月10日(土)
場 所 大館市内
研修コース 名所、旧跡の散策

【宮崎県支部】

- ◆ 11月24日(土)
- ◆ 宮崎市 ニューウェルシティ宮崎



【千葉県支部同窓会研修旅行開催】

日 時 11月24日(土)
場 所 市原市海保 房総十字園
研修コース 国指定特別史跡
加曾利貝塚博物館
本学卒業生学芸員の説明付

同窓会研修会開催報告

【新潟県支部同窓会研修旅行開催】

日 時 9月9日(日)
場 所 弥彦神社
内 容 弥彦パワースポット巡りツアー



橘会保護者懇談会参加報告

9月9日(日)、ホテルニューオータニ幕張で開催された橘会保護者懇談会に参加しました。

今年は、赤羽支部長他9名の会員が出席し卒業生の就労先の概況と現役で働く、県立高等学校教員、県立博物館館長のお二人に現況を述べてもらいました。

席上橘会会長より、「同窓会の皆様と一緒に活動している千葉県側の姿」についてふれ、出席者の皆様に同窓会の存在をお知らせする良い機会となりました。

同窓会千葉県支部事務局長 西村和男

【東京都支部第3回秋の美術鑑賞とグルメの会開催】

日 時 11月10日(土)
世界遺産の上野西洋美術館で開催されている「ルーベンス展」を鑑賞後、上野精養軒でランチを堪能しました。午後から神宮球場に野球の応援に行き、伊藤内野手のホームラン2対0で勝利。秋晴れと、野球も勝ち満足の日でした。

また来年の開催を約束しました。

東京都支部支部長 野呂文人



立正大学橘会就職報告会

橘会会長 田中 貞真

11月3日、学内は橘花祭で盛り上がる中、橘会では昨年度に続き2回目の就職報告会を開催致しました。

今回の就職報告会は、まず司会進行役の品川キャリアサポート課長小宮先生より今年度の本学就職状況の報告がありました。

11月3日現在、2574人中1220人より報告があり内定者980人、進学希望者16人という途中経過報告がありました。

また、最近の就職活動の傾向として、学生が会社訪問する数が減り、平均1人30社程度で、5年前は1人80社回っていたそうです。これは、売り手有利で学生が楽観視しているのではないかという小宮先生からの報告でした。

その後、就職が内定した松元翼さん、田中莉穂さんにご登壇頂き、本学キャリアカウンセラーの三原千草先生がコーディネーターとなり進められました。

◆荒川区役所に内定した松元翼さんの場合

松元さんは大学2年生の12月頃から公務員を意識するようになり公務員講座を受講。3年の6月から予備校に通ったそうです。

また、キャリアサポートセンターの紹介で大田区役所ヘインターンシップに行きデスクワーク以外の実習も経験し、警察や自衛隊、県庁も併願したそうです。

松元さんにとって就活は、自力、独学では到底無理な事々様々なサポートを受ける事が内定の秘訣だと述べていました。保護者としての支援は、困った時にお母さんが助言をしてくれたそうです。

◆不動産管理会社に内定した田中莉穂さんの場合

田中さんは、3年生の夏に大学経由で2、3社のインターンシップにエントリーしたそうです。最初は出版関係に興味があったそうですが、そこでは自分の時間があまり作れないのではと思うようになり、一度立ち止まり他社のインターンシップを経験したそうです。

視野を広げて色々な業界を知ることが大切だと考え、約20

社エントリーしましたが、

「人の心を動かすような仕事がしたい」

「人の暮らしにとって大切なもの」

ということを常に念頭に置き、自己分析を一番大切にされていたそうです。

以上、三原千草先生がお二人に質問をするような形で進められました。

私が個人的に面白いなと思ったのは、三原先生から「面接で困った事はありませんでしたか?」という質問に対し、「お酒の席をどう思いますか?」という質問があったそうです。田中さんは「コミュニケーションの一環としていいと思います。」と答えたそうです。抜群の答えだと思いました。

そして、一番印象に残っているのが、小宮先生が最後の結びの挨拶で話された「就職活動を通して学生の顔つきが変わる」という言葉です。この一言に学生達の成長を感じずにはられません。常に学生達に寄り添って心配をしてく下さるキャリアサポートの先生方に感謝です。

第2回目になる今回の「就職報告会」も昨年に引き続き、200人を越える参加者があり、9B22教室が満杯、立って聞いている人もいました。それだけ就職活動が保護者にとって気になるところなのです。

橘会では年間に全国15会場で保護者懇談会が開催されていますが、全国の同窓会組織とも連携して、より良い就職活動が出来るようにサポート体制を整えていくことが今後の課題だと思います。

校友会の皆様におかれましては、学生達の就職活動充実の為、より一層のご支援を頂きますようお願い申し上げます。



キャリアサポートセンター協力 橘会就職報告会

第23回

平成30年度橘会奨励賞の募集を開始しました



橘会では学生を対象に、学術、文化、体育、慈善行為、その他広範囲の分野において活躍または努力をした個人、団体を表彰しています。自薦・他薦を問いませんので、奮ってご応募お待ちしております。

- ①応募資格：本学に在籍する学生（個人、団体どちらでも可）
- ②応募メ切：平成31年2月12日（火）消印有効
- ③応募方法：校友課、各学部事務室または校友会ホームページ (<http://alumni.rissho.jp>) で配布している応募書類に必要事項を記入し、参考資料（賞状等）を添えて校友課までお申込み下さい。



平成30年度 橘会保護者懇談会開催報告

平成30年5月より開催してまいりました、立正大学橘会保護者懇談会の全日程が終了いたしました。豪雨の影響で残念ながら中止となってしまった会場もありましたが、多くの会場で大変盛会の中、無事に終了することが出来ました。ご参加いただきました保護者の皆様、ご協力いただきました大学関係者の皆様ありがとうございました。今回は、前号以降に開催されました保護者懇談会において、保護者の皆様より寄せられた声を、前号ではお載せできなかったものと合わせて掲載いたします。

さいたま会場

- 日にち:平成30年7月29日(日)
- 会場:パレスホテル大宮(埼玉県さいたま市大宮区)
- 参加数:59人

保護者懇談会に参加して 赤坂 美加(埼玉県)

品川キャンパスに通う2年の母です。昨年に引き続き、今年も参加させて頂きました。今年は、ご夫婦で参加されている方が多いと感じました。

全体会では、教職員・役員紹介があり、橘会副会長 菊池様の御挨拶に続き齊藤学長よりこれからの立正大学についてのビデオメッセージがありました。1人ひとりの個性を伸ばし立正大学のブランドを全国に広める為にも駅伝にも力を入れていくとの事でした。いつの日か箱根路で応援できると思うと、とても楽しみです。

父母のための就職講座では、熊谷キャリアサポート課長草川様より説明をいただきました。それに先立ち各テーブルごとに自己紹介をして下さいとの事。「えーどうしよう」と大変緊張しましたが、おかげで普段お話す機会のない保護者の方々と意見交換することが出来て、とても良い経験が出来たと思います。その後企業側の求める人材のDVDを見せて頂きました。その中で学生時代にどんな事を頑張ったのかを自分の言葉でアピールするという

事が大切だというお話でした。日々の大学生活の中でやりたい目標を発見し有意義な学生生活を送る中でしっかりと身につけていって欲しいと願うばかりです。

最後になりますが、この会の開催にあたりご尽力して頂いた先生方、橘会の皆様に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。また来年も参加したいと思います。



保護者懇談会に参加して 下田 玲子(群馬県)

大宮で開催された保護者懇談会に参加させていただきました。保護者懇談会は「全体会」「父母のための就職講座」「個人面接」という流れで行われ、立正大学は就職を視野に入れた講座が充実していて、学生1人ひとりをきめ細やかに指導していただけるだけでなく、保護者へのサポート体制もしっかりしている学校であると感じました。

「全体会」で視聴した齊藤学長のビデオメッセージでは、グローバル社会の中で活躍する人材育成をはじめ大学駅伝参加を目指している事等、大学の基本理念、教育方針、目標等を明確に力強く発せられ、立正大学は立派な大学だと思いました。

「父母のための就職講座」では熊谷キャンパス

キャリアサポート課の草川課長から、集団面接における留意点や父母の心構え等について、わかりやすく説明していただきました。さらにビデオインタビュー形式で異業種の企業採用担当者にご教示いただいた、期待する人物像や採用側の着眼点、就活生への親の関わり方も含めた就職活動の心構え等には、就活を乗り切るヒントがちりばめられていて、とても参考になりました。また、テーブル毎に自己紹介を行い、お茶とケーキをいただきながらサークル活動やアルバイト等、保護者間の情報共有や交流が図られ、和やかなひと時となり楽しかったです。

「個人面接」では、単位取得状況や留意点等、成績表を見ただけでは分かりにくいことを端的に説明して頂き、努力すべき点が整理できました。また子供の大学生活の様子について担当の先生のコメントを拝聴し、丁寧な対応に心温まる思いが致しました。

本会を通して、大学のキャンパスとの距離が縮まったような気が致します。これも一重に学長をはじめとした先生方や職員の皆様、橘会役員の皆様にご尽力いただいたおかげです。心より感謝申し上げます。

静岡会場

- 日にち:平成30年8月25日(土)
- 会場:静岡第一ホテル(静岡県静岡市)
- 参加数:27人

保護者懇談会に参加して 瀧 さおり(静岡県)

静岡会場の保護者懇談会に初めて参加いたしました。教職員・役員の方々のご紹介から始まり、橘会田中会長の親しみやすい御挨拶、齊藤学長からのビデオメッセージと続き、メインはキャリアサポート課小宮課長の「父母のための就職講座」でし

た。

昔の就職課がキャリアサポートセンターであることも今回初めて知ったのですが、カウンセリングや各種講座など、手厚いサポートがあることがよく分かり安心いたしました。お話の中にあつたように、親の世代とは就活環境が全く違いますので、多くの本校生がこれを利用されるといいと思いました。このあたりが高校の先生に本校を勧められた理由のひとつかもしれません。息子は2年生ですが、早めに少しずつでも意識を含めて準備して欲しいと思います。

講演後の個人面接は、待ち時間の間に他の保護者の方とお話することができました。コーヒーとケーキもいただけます。本校の県内の方とお話する貴重な機会をいただいて、楽しく過ごしました。面接は学事課の先生から履修や学校での様子を伺えました。

大変お世話になりました。ありがとうございました。



高知会場



- 日にち:平成30年9月1日(土)
- 会場:高知会館(高知県高知市)
- 参加数:5人

保護者懇談会に参加して 平野 勝子(香川県)

平成最後の夏。西日本豪雨に度重なる台風と異常気象、酷暑に悩まされた7月8月でした。9月1日、高知にて四国地域の保護者懇談会及び立正大学の地域の集いが同時開催されました。

経済学部3回生の息子の保護者です。折しも、彼は8月中旬から2週間に渡ったインターンシップが終わったばかり。私は四国の北、香川県高松在住。南国土佐での保護者会は遠いので参加をためらっていました。しかし、子どもにかかわれる最後の機会。大切な就活の時期も近々です。参加して良かったです。会場から見える高知城も美しかったです。

永田副学長のお話は、とても分かりやすく前向きな大学経営の姿勢が伝わりました。「立正ミュージアム」建設の件は、歴史好きなので完成が楽しみです。立正大学の野球の話も身近に感じられました。

そして、吉岡キャリアサポートセンター部長の丁寧な説明(サポートセンターの活動、就活状況、保護者の心構え)は具体的で参考になりました。2年前に初めて保護者会に参加した時と違い、3回生の親としてお話を伺うと身にしみました。心情的には、いよいよ子離れの覚悟が必要な時期と思いました。

30年前、自分が学生の頃と違い、今の学生は大学側がきちんとサポートして温かく見守ってくれます。とても恵まれた環境です。幸い息子は良き友、良き先生に恵まれ充実した学生生活を送らせて頂いています。

大切な就活、そして4回生。さて、来年はどんな年でしょう。今後とも宜しくお願いします。ありがとうございました。

福岡会場



- 日にち:平成30年9月2日(日)
- 会場:ホテルセントラーク博多(福岡県福岡市博多区)
- 参加数:11人

保護者懇談会に参加して 旧杵 洋介・淳子(大分県)

2年生になった今年、はじめて夫婦で参加しました。会場に到着すると、大学を紹介するDVDが放映されていましたが、キャンパスの様子や全国レベルのスポーツ部の活動など、大変興味深いものがありました。

全体会では、大学の創設に至る歴史、大学名の「立正」の由来、さらに、1万人を超える学生が在籍していること、地方創生に関連し政策学部を新設すること、駅伝を強化し「大学駅伝」を目指していることなどの説明がありました。そして、「父母のための就職講座」では、早めの情報収集と準備が必要であること、インターンシップやUターン就職、会社説明会から内定に至るまでのスケジュールなどの話をいただきました。その中で、企業は学生に対し、「多種多様な意見を理解し様々な方とコミュニケーションを図り、物事をまとめていく力」=「コミュニケーション能力」を特に重視しているとの説明もありました。自分の子どもは大丈夫かなと一瞬思いましたが、大変参考になる貴重な話でした。

その後の個人面接では、履修内容や単位取得について、また、公務員志望ということで公務員試験に向けてのカリキュラムなどの説明を受けましたが、丁寧に対応していただき内容も十分理解できました。

今回の保護者懇談会に参加して、大学の状況、子どもの履修状況、就職活動などの理解が深まり大変有意義であったと感じています。ご尽力いただきました、先生方をはじめ関係者の皆様方に厚くお礼申し上げます。

大分県に帰り、早速、懇談会の内容を子どもに伝えました。来年は、東京と福岡の両方に参加できればと考えています。皆様方も一緒に参加しましょう。

保護者懇談会に参加して 山添 悟子(福岡県)

大学の先生方より、直接学修や就職についてお話が伺える機会と聞き、参加致しました。熊谷キャンパスに通う1年生の母です。

全体会では、学校の歴史、そして平成31年に地域政策学部が新設されることや、大学駅伝を目指し取り組みが始まっていることを聞き、総合大学として進化、前進している大学だと感じました。

就職講座では、就職までの就活サポートから実態までを説明していただきました。学校生活で取り組むべきことや、学生のイメージであるコミュニケーション能力と協調性は企業が求めるイメージとは違い、認識のズレがあることを教えていただきました。学内のキャリアサポートセンターを積極的に活用することが、就活を少しでも有利に進めるポイントだと感じました。

個人面談では、履修登録の確認とアドバイスをいただきました。ゼミの先生からのコメントより、息子の授業への取り組み方や友人とのかかわりについて聞くことができ、とても心強く安心致しました。生徒1人ひとりに手厚く丁寧なサポートがあることに感謝しております。

最後になりましたが、懇談会の開催にあたりご尽力された関係者の皆様に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

横浜会場



- 日にち:平成30年9月29日(土)
 - 会場:コンベンションルームAP横浜駅西口(神奈川県横浜市西区)
 - 参加数:31人
- 保護者懇談会に参加して 菊池 稔(神奈川県)

品川キャンパスに、4年生の娘と2年生の息子の2人が通学しています。横浜会場の懇談会は、前

日の台風の影響が心配でしたが、無事に開催され、参加することができました。

懇談会では、はじめに、齋藤学長からのビデオメッセージを拝聴しました。学生に積極的な姿勢を求めながらも、それを指導、サポートしていく学校側の方針を強く、熱く語られる様子は、保護者として心強いものでした。また、英語教育の充実など、子供の将来に繋がる施策は、楽しみです。

その後は、小宮先生の「父母のための就職講座」を拝聴しました。4年生は、内定を得た人と得ていない人が混在し、説明の難しい時期だと感じました。その中で、得た人には、昨年度および今年度の就職先概況が、我が子の内定先に対する興味を起こさせ、得ていない人には、今後の予想される会社側の動きとそれに伴う学生側の活動方法の説明が、就活生の保護者にとって安心が得られるものであったと思いました。

また、2年生には、就活に関する会社側のルール動向や既に始まっているインターン活動など、時事的に気になる点が説明されました。加えて、学校内のキャリアサポートプログラムの内容を具体的に示して頂いたため、漠然とした子供たちの計画が、明確に理解できるようになり、家庭での話題にも取り上げることができました。「あまり、細かい点に干渉すべきではない。」とも言われますが、やはり、保護者側の知識・理解がなければ、「どの程度の内容までが話題として適切なのか?」を考えることも難しいと思います。親として、自身の考え方を整理する意味でも、説明を聞くことは、得るものが多いと思います。





『まどろむ、わたしたち』
 白鳥 博康(しらとり ひろやす)
 (平成23年 文学研究科国文学専攻
 博士後期課程修了)
 絵/もとやま まさこ

銀の鈴社
 定価 3,000円+税
 ISBN 978-4-86618-060-1 C0093
 お問い合わせ info@ginsuzu.com

◆ 白鳥 博康 プロフィール

1983年東京都生まれ。
 大学院修了後、フランス遊学をへて、創作活動にはいる。
 著書に『夏の日』(秋田県能代市教育委員会発行「家読ノート」中学生向けお
 すずめの本/平成29年版)『ゴムの木とクジラ』(神奈川県児童福祉審議
 会推薦優良図書・中学生以上対象/平成29年度)『ぜいたくな あさ』(日
 本子どもの本研究会選定図書・小学生上級から/平成30年1月選定)(と
 もに銀の鈴社)がある。

◆ 内容紹介

ゆびを うごかした だけで
 いのちは きえてしまうこともある __《ジャズミンの》(「かの地の夕景」より)
 “すずしい”
 と おもった 彼女の ことばは あやふやで
 ただ 彼女の母語でないことは たしかだった __《晩夏》(「くりかえす晩夏」より)
 さげられない運命とむきあう心。せつなくて、でも、あたたかいシネマのよ
 うな言葉の世界。
 詩?絵本?超短編小説?新しいジャンルを切り拓く珠玉の小品集、第四弾。
 【収録作品】
 「かけらグラフィコ」「かの地の夕景」「52番のバス」「ホルン奏者と隕石」
 「ささやくヒマワリ」「まどろむ、わたしたち」「くりかえす晩夏」「未完成オー
 ケストラ」
 オールカラー120ページ+巻末注釈4ページ/四六判型

教 職 員 訃 報

【平成30年9月14日～平成30年11月30日】

元社会福祉学部事務長
 長 谷 川 智 子 氏 (平成30年11月7日 逝去)
 謹んで哀悼の意を表します

【お詫びと訂正】 前号の巻末 石橋湛山先生鑽仰研究会「湛山会」のお知
 らせにおきまして、年号に誤りがありました。正しくは以下の通りです。

10行目：石橋湛山先生は1884年(明治17年)9月25日に誕生し、1973年
 (昭和48年)

ご本人様ならびに関係各位にご迷惑をお掛けしましたこととお詫びすると
 ともに、ここに訂正させていただきます。

発 行 者 立正大学校友会
 〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16
発 行 人 齊藤 昇
編 集 立正大学学長室校友課
電 話 03-3493-6673
U R L <http://alumni.rissho.jp/>

I N F O R M A T I O N

2018年度校友会費B (卒業生・現元教職員等会費)のご案内

昨年度は校友会費B(3,000円)に約2,532件・7,616,000円のご協力を賜りました。皆様のご協力で深く御礼申し上げます。
 ご協力頂きました会費は校友会奨学金、入学記念品、卒業記念品、課外活動助成金等の在校生支援事業および卒業生交流会費用や会報等発送に関する校友会運営費に充当させていただきます。
 まだお振込がお済みでない会員の方は、専用振込用紙にてゆうちょ銀行よりお振込くださいますようお願い申し上げます。
 なお、2016年度より毎号、振込用紙を同封しております。校友会費Bは年会費です。4月号より翌年3月31日迄に1度、お振込みいただきますと、その年の会費としてお預かりしております。振込用紙は毎回のように入りますが、皆様、一律にお送りしておりますので、ご了承下さい。

記入の際、下記青枠内において、本紙への氏名掲載を「許可する」。もしくは、「許可しない」のご希望をお伺いしております。どちらか片方に○をお付けの上、お申込みくださいますよう、重ねてお願い申し上げます。



立正大学生涯メールのご案内

立正大学では、卒業生・修了生が、同窓生同士の交流はもちろんのこと、本学との交流や情報交換を図り、無償、永年利用のメールサービスをおこなっております。詳細につきましては校友会ホームページをご参照下さい。

校友会会員情報について
 ご登録を頂いております、お名前・ご住所・電話番号・勤務先等にご変更および訂正がございましたら、下記までご連絡下さい。

変更届の内容

- ◆氏名 ◆ご住所 ◆電話番号
- ◆メールアドレス ◆勤務先または職業
- ◆校友会会員番号(校友会報・学園新聞宛名ラベルの番号)

お問い合わせ・お届け先

立正大学学長室校友課
 〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16
 ☎ 03(3493)6673 FAX: 03(3493)9068
 Email : alu@ris.ac.jp
 ■専用用紙は立正大学校友会ホームページ
 (<http://alumni.rissho.jp/alumni/campus/alterati-on.html>) からダウンロードできます。

お知らせください

◆卒業生の活動情報やクラブ・サークルOB/OG会開催、卒業生のお店紹介等卒業生の活動に関する情報がございましたら上記お問い合わせまでご連絡ください。